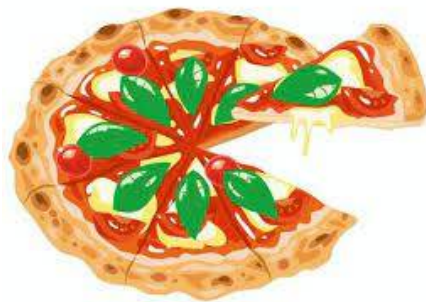




2021 年度

海外フィールドワーク
報告書

イタリア



2021年度 海外フィールドワーク報告書

目次

鈴木 鉄忠	まえがき	1
稲川 千尋 0192006	食から考えるイタリア	5
多治見 有紗 0202044	イタリアのカフェ「バール」の秘密	13
加藤 優季 0202014	カフェインを求めて脳内で海外旅行をしたらイタリアに辿り着いた件。	21
阿部 鈴夏 0192003	イタリアの家庭料理について知ろう	31
小此木 夢 0192011	イタリアと日本—フィールドワークでの学びから	39
神宮 うの 0202037	映画で見るイタリアの観光地	47
櫻澤 萌 0202030	イタリアのファッション事情	55

まえがき（鈴木）

まえがき

「旅に出て、少しも心を改めることのない人があった」という話にソクラテスはこう答えた。「ありそうなことだ。その人は、自分を携えたまま旅をしたのだ」

モンテーニュ 『エッセー 第1巻』第39章「孤独について」

2年前に実施した海外フィールドワーク・イタリアの報告書では、上記の言葉をまえがきに置いた。現場の「本物」を五感で体験する。それがいかに「自分が変わっていく旅」「他者と出会う旅」になりうるのか。この問いを指針に授業に臨んだ。受講生が残した生き生きとしたフィールドノートを見ると、この試みはかなりの部分で成功した手ごたえがあった。

しかしながら、今年度は難しい船出だった。新型コロナウイルスの猛威が収束せず、肝心の「現場に行く」ことが難しかったからである。では現場に行かなければ「自分が変わっていく旅」「他者と出会う旅」は不可能なのだろうか。今年の挑戦は、現場を訪れることができない状況で、いかにしてイタリアの「本物」を体験し、そこから「自分が変わっていく旅」「他者と出会う旅」が可能かだった。国際コースの3年生が3名、2年生が4名、合計7名の受講生とともにこの問いに挑んだ。

初挑戦となった学びの特徴は2つある。第1に、プレゼンテーションの機会を多く設けたことだ。年間で計6回の発表を行った。教室での口頭発表だけでなく、リアルタイムのリモート発表、録画配信でのプレゼンテーションなど、さまざまな発表形態を実施した。第2に、現地イタリアとのオンライン授業である。ベネチア・カ・フォスカリ大学で日本語を学ぶイタリア人大学生とのオンラインでの交流会は、計4回実施した。報告書作成のインタビューで個別にベネチア大学生に依頼した学生もいた。イタリア関係の仕事に従事する日本人のゲスト講師ともリモートで話す機会も2回設けることができた。

コロナ禍で思い描いた大学生活が送れないベネチアの学生とともにこの状況を考えたり、なにげない日常生活や若者の話題で盛り上がったり、たとえ現地に行けなくてもお互いのことを知りたいという「熱量」が回数を重ねるごとに大きくなった。報告書のテーマに身近な出来事が多いのも、そうした学びが「自分が変わっていく旅」「他者と出会う旅」のかけらになったからかもしれない。

以下が前期・後期の講義内容である。

2021年度前期

	概要	備考
1	科目概要・シラバス動画授業	
2	顔合わせと授業の進め方の打合せ	受講生7名に決定

まえがき (鈴木)

3	「イタリアと私と〇〇〇」	左記テーマの発表
4	イタリア探究	第3回の発表テーマと『イタリア文化事典』の項目を関連付ける
5	大学の活動制限指針レベル3に引き上げで休講措置	
6	イタリア映画から学ぶ	自分で選んだイタリア映画を鑑賞し、スライドにまとめる
7	ZOOMでミーティング	イタリア渡航の現状共有；今後の発表に関する打合せ
8	ZOOMで「イタリアと私と映画」発表	第6回で鑑賞した映画を発表
9	ZOOMでイタリア旅行専門の旅行会社とトークセッションと発表	(株)リョービツアーズ Tutta Italia の鎌田久美さんのゲスト出演
10	イタリア探究：ローマ①	映像資料によるアクティブラーニング
11	イタリア探究：ローマ②	映像資料によるアクティブラーニング
12	イタリア探究：ベネチア①	映像資料によるアクティブラーニング
13	イタリア探究：ベネチア②	映像資料によるアクティブラーニング
14	ZOOMで在伊日本人とトークセッションと発表	ベネチア在住の旅行代理店勤務・小山壽美子さんのゲスト出演
15	前期のまとめとふりかえり	

2021年度後期

1	ZOOMで後期の打合せ	
2	ZOOMでベネチア大学生第1回交流会	ベネチア大学吉田桃子講師のクラスのイタリア人日本語学習者と座談会
3	「私の一押しイタリア散策」発表	シャロン祭動画制作
4	ZOOMでベネチア大学生第2回交流会	イタリアと日本の大学生の日常
5	報告書テーマに関するミーティング	
6	ベネチア大学生交流会の企画打合せ	
7	国内外研修に関する打合せ	
8	ベネチア大学交流会の発表リハーサル	
9	ZOOMでベネチア大学第3回交流会	「群馬の温泉」に関するグループ発表
10	国内研修に関する打合せ	
11	報告書作成に関する作業	
12	報告書作成に関する作業	
13	報告書作成に関する作業	
14	報告書作成に関する作業	
15	後期のまとめとふりかえり	

まえがき（鈴木）

報告書の構成は、「食」がテーマの稲川・多治見・加藤・阿部、「サブカルチャー」がテーマの小此木・神宮・櫻澤からなる。そのため学年別ではなく、報告書の順番はテーマの流れで配置した。各受講生は各自で報告書を作成したが、変奏曲のように重なり合う内容も多く、それが独特の味わいをつくりだしている。

今年初の試みがもう一つある。シャロン祭での動画発表の出展である。「私の一推しイタリア散策」というテーマで、事前学修から関心を抱いた街のバーチャルツアーを発表した。私にはとても新鮮な街歩き案で、とてもおもしろかった。

現地イタリアに行けないなか、イタリアのリアルな風を届けてくれた(株)リョービツアーズ Tutta Italia の鎌田久美さん、ベネチア在住で旅行代理店勤務の小山壽美子さん、ベネチア大学で日本語を教える吉田桃子先生とクラスのベネチア・カ・フォスカリ大学の学生に厚くお礼申し上げたい。1年間ともに学んだ7名の学生には、イタリアに連れていくことができなかったけれども、最後まで取り組んでくれたことに感謝する。コロナが落ち着いたら、ぜひイタリアに行って現地の空気を吸って、本場のピッツアをほおばり、バールでコーヒーを頼んで休憩しながら、「あのときは行けなかったけれど、ついにイタリアに来た！」という感動を味わってほしい。

2020年2月14日

鈴木 鉄忠

まえがき（鈴木）

以下は国際コースの公式 Instagram と Facebook での授業の様子を発信した記事である。
共愛学園前橋国際大学・国際コース ・2021年11月1日・Instagram /Facebook

国際コースの海外フィールドワークの授業では、今年もコロナに負けず海外とリアルタイムでつなぐ学びを展開しています👍海外フィールドワークのイタリアでは、ベネチア「カ・フォスカリ」大学で日本語を学ぶイタリア人の大学生と交流しました🇮🇹🥰

- ・どんな大学生生活を送っている？
- ・コロナのときはどんなふうに毎日過ごしていた？
- ・いま流行っているものは？
- ・どんな絵画や文学が有名？

などなどの質問が出ました。10,000 キロをこえてのリアルタイムの会話はとても新鮮な体験でした。そしてベネチア大学の学生たちのハイレベルな日本語力に驚きでした😲同世代としてもよい刺激を受けました👍これからも海外とつながりながら学びを深めていきます🥰



👍 ベネチア大学生との ZOOM 交流会

ベネチア在住の小山さんに ZOOM 発表👍



👍 ベネチア大学との ZOOM 発表&交流会

